

大雨による災害に備えて

毎年、日本各地で大雨による災害が発生しています。本市でも、平成30年7月豪雨では、土砂災害や河川の氾濫などによる浸水により大きな被害をもたらしました。大雨による被害を最小限に抑えるため、災害が起る前に日頃から備えておくことが重要です。

問 防災復興推進課 21-0246

早めに行動しましょう

大雨のときの移動は、浸水により身動きが取れなくなったり思わず深みにはまつたりするなど大変危険です。大雨は事前に予測ができるため、気象情報に注意して、早めの行動を心掛けましょう。移動を伴う避難が危険な場合は、自宅の2階以上や山と反対側の部屋へ移動するなど、臨機応変な行動をしましよう。

自主的に避難場所を確保する「自ら避難」

市は、市民が災害に備えて自主的に避難するための場所を確保する「自ら避難」制度を始めました。あらかじめの登録申請により指定避難所の自主避難利用や、地域の

集会所などを自主避難所として利用できるよう認定する制度です。

分散避難について

感染症予防のため、避難場所を分散することが求められています。例えば、自宅が安全な場所にある場合は自宅の上階へ、それ以外の人は安全な場所にある親戚・知人の家や、安全な場所に駐車した車中などへ避難する分散避難により「密」を避けることができます。しかし、安全に不安があるときはためらわず、指定避難所へ避難をしてください。

また、避難をするときには、マスクの着用や体温計・消毒液を携行するなどの感染症予防を行いましょう。

6月13日(日) 大規模水害対策訓練

6月13日(日)に、市内各地で「大規模水害対策訓練」が行われます。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため規模を縮小したものになりますが、防災ラジオや防災情報メールを活用した訓練を行いますので、ご理解とご協力を願いします。

自主防災組織

大規模災害の直後は交通網や通信網などのライフラインが混乱し、行政による救出や支援が行き届かない場合があり、そのときは地域による支え合いが大切です。

平成30年7月豪雨災害時にも、地域による1人暮らし世帯などへの水の配布や、要支援者への安否確認などにより救われた人も多く、地域の自主防災活動が大きな役割を果たしました。

大規模災害を乗り切るためにも、各地域で自主防災組織を結成し、「自分たちのまちは自分で守る」という心構えで、日頃から災害に備えましょう。

自主防災組織活動促進補助金

市内の自主防災組織の活動について補助金を交付します。



令和2年度の訓練の様子

内容	補助金額
防災訓練	基本額 10,000円 + 組織加入世帯数 × 100円 (限度額 50,000円)
防災土養成	防災士の認証の取得費用(交通費等は除く) ただし、自主防災組織以外の市内団体に所属する者が取得する場合は、取得費用の1/2を限度とする。
研修・啓発	限度額 20,000円
防災マップ作成	限度額 50,000円
防災資機材整備	基本額 30,000円 + 組織加入世帯数 × 200円 (限度額 100,000円) ※2回目以後は上記の半額とし、50,000円を限度とする。